

# 舞鶴市民新聞

## 身障者を招いて ボウリング大会

板硝子労組

日本板硝子労働組合舞鶴支部(森下俊之支部長)は二十三日、北吸の「マリンボウル」で、身障者施設の入所者を招いてボウリング大会を



仲良くボウリングを楽しむ園生と組合員

催した。同支部が取り組んでいるボランテニア活動の一環で、障害者と組合員が、ボウリングを通してふれあいを深めた。

加する時の送迎ボランテニアや献血ボランテニアに取り組んでいる。また、福祉施設への募金も行っているが、今回は「直接、障害者の人たちとふれあいを」と、初めてボウリング大会を催した。

招かれた園生たちは、ほとんどがボウリングは生まれて初めての経験で、組合員たちが手を取って指導、仲よくボウリングを楽しんでいた。このあと、大波下の日本板硝子舞鶴工場の見学も行われた。

平成5年8月26日

京 都 府 舞 鶴 市

## 記念品作り、急ピッチ

ねんりんピックの受注

### 舞鶴のみずなぎ学園 茶わんやきん着袋



ねんりんピックの参加者に贈ろうと茶わん作りに励む園生ら

舞鶴市鹿原の社会福祉法人「みずなぎ学園」(岡本四寿園長、園生百一人)は、今秋に開かれる「ねんりんピック'93京都」で同市を訪れる参加者に贈る記念品作りに取り組んでいる。

記念品は湯飲み茶わんで市から五百個を委託された。福祉の祭典である「ねんりんピック」に、同学園も記念品の製作で参加してもらおうが狙い、という。ほかに、府社会福祉協議会から、布製のきん着袋千点の注文も受けている。

同学園では「作品は高価なものではないが、素朴で日常生活でも使えるので、参加者に喜んでもらえるのでは」と話している。